

チュチェ思想にもとづき人民に依拠してたたかひの前進を —朝鮮労働党第8回大会について—

沖縄大学名誉教授
平良研一

朝鮮労働党第8回大会が本年1月5日～12日までの8日間、開催されました。金正恩総書記が第8回党大会でおこなった「結語」に即して、若干、述べたいと思います。

アメリカに積極的に従属し軍拡政策をおしすすめる日本

アメリカの大統領が常軌を逸したトランプ氏にかわりバイデン氏になりました。細かいところでは違いがみられますが、果たして本質的にはどのようにちがうのでしょうか。厳格に吟味する必要があると思います。

バイデン政権は国際協調、同盟国のいっそうの強化を訴えています。アメリカは自由でひらかれたインド太平洋の実現にむけて、東シナ海、南シナ海を中国の脅威から守るという名目で欺瞞的な安全保障上の連携をはかり韓国と軍事同盟を強めています。

日本との関係においても菅義偉首相との電話会談で、自由でひらかれたインド太平洋の実現ということを言い、一致したと表明しています。尖閣諸島周辺での中国の脅威に対抗するという名目で中国を牽制しながら、一方で朝鮮敵視政策を展開しています。バイデン大統領は同盟国の日本や韓国と連携を重ねながら、戦争政策を展開しています。

アメリカの国際協調宣言というのは、けっして世界平和を呼びかけているものではありません。コロナ禍のなかで、2021年にはいりアメリカの新型コロナウイルスの一日あたりの感染者数は30万人に迫り、感染者の累計は2000万人、死者数35万人を超え、世界最悪となっています。コロナ禍のなかでアメリカ社会はいっそう疲弊しており、経済的なさまざまな矛盾がおこっています。

金融資本主義、新自由主義の横暴というなかで大変な矛盾がおこっているわけです。アメリカは矛盾を何とかとりつくろい、同盟国の力を利用しながら、中国に対応しつつ、衰退する国力を挽回しようとして新たな覇権をめざしているのだと思います。

アメリカと中国の外交トップの会談が3月18日から二日間にわたってアンカレッジでおこなわれました。人権や安全保障などの問題をめぐり、かなりはげしいやりとりがおこなわれています。アメリカは中国の新疆ウイグル自治区の人権弾圧、香港や台湾にたいする人権無視などをあげて相当批判しています。中国は、アメリカ式の民主主義をおし広めるべきではない、アメリカが普遍的な価値や国際世論を代表することはできないと反論しました。両者の主張は真っ向から対立し、アメリカは国内で人種差別や人権

弾圧があるのを棚にあげて、応酬しているというじつに滑稽な構図がありました。バイデン政権においても、トランプ政権とかわらず、ある意味でそれ以上に巧妙な戦争政策をとっているといえます。

また、バイデン政権下でブリンケン国務長官とオースティン国防長官が日本と韓国を訪問し、3月16日には日米の、18日には韓米の外務・防衛の閣僚協議「二プラス二」を開きました。

日米の「二プラス二」では茂木敏充外務大臣、岸信夫防衛大臣が同盟のいっそうの強化を確認しています。米軍駐留経費の日本の負担増については、あからさまにださなかったものの、バイデン政権の閣僚として初めての訪問先を日本にしたことを強調し同盟の強化を訴えています。

日本は、2021年度予算案の防衛費を増額し、軍事力の増強をたくらんでいることはまちがいありません。

日本は尖閣諸島への中国の軍事脅威を名目に、積極的にアメリカに軍事的に依存しようとしています。日本はアメリカに必然的、積極的、自発的に従属を強めており、自発的依存関係が形成されています。いまやアメリカにただ依存するだけでなく、積極的にしたがって、日本独自の軍事力の拡大を示していく傾向をたどっているように思います。

アメリカの核戦略は覇権主義の要になっています。中国、朝鮮を標的にして核戦略を展開し、世界の脅威にしているわけです。日本はアメリカの核戦略にがんじがらめにしられています。

日本政府は原発の廃止については考えておらず、東日本大震災以降、2021年3月時点で再稼働した原発は9基あります。小泉純一郎元総理大臣はいま原発の廃棄を唱えています。安倍総理につづいて菅総理もまったく原発を廃止するということは考えていません。原発の再開は、民衆にとってたいへんな屈辱であると思います。

核兵器禁止条約が2020年1月22日発効しましたが、五大核保有国や「核の傘」に依存する日本は署名・批准しないという恥ずかしい状態になっています。日本が核兵器禁止条約に署名・批准しないのは、アメリカに積極的に従属している結果としてあります。

日本はアメリカに完全に従属していると言われていますが、いまは一概にたんなる従属であるとはいえません。

いま特徴的なのは、武器を多く保有し核兵器も保有しているアメリカに、たんに従属しアメリカの力を利用するだけでなく、日本みずからすすんで基地などをつくっていかうとしていることです。アメリカとの関係において、日本みずから積極的にアメリカに従属していかうしているのです。

積極的にアメリカにすりより、在日米軍駐留経費も日本がだしています。もちろん日本はいま思いやり予算に多額の拠出をしており、あまりにも多すぎるのではないかという声があがり少し躊躇して20いる面もあります。

また、日本は、全面的ではないにしても、アメリカに頼らず、自国の防衛力を強めていこう、日本国憲法に反して積極的に戦争政策をすすめていこうという面をもっており、非常にしたたかで危険だといえます。日本は、尖閣諸島は日本の領土であるとし、中国が中国の領土であると主張しているのにたいして、自国で防衛するという言い方をしています。

アメリカの核政策は他国を侵略するためのものであるのにたいして、朝鮮の核政策は、社会主義体制崩壊をねらうアメリカへの対抗措置としてあります。アメリカが朝鮮を攻撃できないことについて、よく巨象とハリネズミというたとえがだされています。巨象がハリネズミを食べようと思っても、ハリネズミが巨象にたちむかっており、ハリがあるため食べることができないのです。巨象とハリネズミのたとえの通り、朝鮮は核の数は多くないけれども、核をもっていること自体が抑止力になっているのです。

アメリカをはじめ核保有国の五大国も抑止力だと偽って核を保有しています。アメリカが抑止力ということ自体が欺瞞的だといえます。金正恩総書記はアメリカの核の脅威への対抗措置であると核抑止力を強調し、最強の軍備で対抗するとして、第8回党大会の「結語」で「核戦争抑止力をさらに強化するとともに、最強の軍事力をそなえることに全力をつくすべきです」と述べています。

核の脅威にたいして侵略を許さず自国を防衛し平和を守るために核を保有するというのは正しい使い方であると思います。他国を侵略するために核を保有しているアメリカの核は抑止力であるといえないでしょう。

朝鮮労働党第8回大会の基本方向

「制裁」が長期化し、きびしい情勢のなかで朝鮮労働党第8回大会が開かれたことは大きな意味があると思います。アメリカをはじめとする帝国主義が世界を包囲するなかで、朝鮮をとりまく世界情勢は依然として危機的な状況にあるといってもよいと思います。

また新型コロナウイルスという未曾有の感染症が世界を覆っているなかで、朝鮮は一人も感染者をだすことなく第8回党大会を開催しました。

埼玉大学名誉教授の鎌倉孝夫氏が、朝鮮はコロナ感染症を一人もだしておらず、完璧な防止策をとっていることについて述べています。鎌倉氏は、朝鮮では党、国家による完璧な感染防止策のはたらきが大きいが、何よりも民衆の一人ひとりが絶対に感染を広めないという責任ある自覚的な行動をとっていることがある、この全人民の一心団結した意識的行動の基盤にあるのがチュチェ思想の全人民化、全社会化である、一心団結した意識的行動、それが基盤にある、と述べています。朝鮮では、チュチェ思想の全社会化がいきとどいていると述べているのです。

金正恩総書記は第8回党大会の「結語」のなかで、党と国家、軍隊の活動と社会生活

の各分野に内在している偏向や欠点を具体的かつ辛辣に批判、総括し、それを克服するための意志を表明しています。偏向や欠点を明確にし、新しい体制づくりの決意を示しています。

同時に、現実離れした諸問題を党の原理にそってすすめるための決定的な対策を講じています。党事業と党活動で以前の古いもの、現実離れし、生活からかけ離れた研究やアイデア、諸問題を党建設の原理に即して、朝鮮の方式で是正するための決定的な対策を講じていくということです。地に足を据えた原理原則にあう政策の実現をめざしているのです。

党活動において技術的に優れたアイデアがだされると、往々にしてすばらしいととらえがちですが、党建設と党活動の原理、発展する現実の要求に即したもの、人民の実際の生活に即したもの、人民の生活を豊かにしていくものにつながるものでなければ意味がありません。金正恩総書記は、現実の要求を正確に反映して朝鮮労働党規約を改正することにより、党の指導力と戦闘力を強化し、健全な発展をなしとげるための重要な基盤がきずかれたと述べています。

そのうえで党の使命と役割を果たすため、第8期党中央委員会を党と革命に忠実で実務能力のある人材でかため、党内に新しい規律監督体系を樹立したということが言われています。

第8回党大会の基本思想・基本精神

一労働党の革命的意志

第8回党大会の基本思想、基本精神、朝鮮労働党の革命的意志が述べられておりひじょうに重要です。

朝鮮革命をとりまく外部の状況、情勢はきびしいものがあります。まず、きびしい状況であるという現状認識があり、それに対抗するには社会主義建設の主体的な力量、内的原動力を強化していかなければならないということです。革命において偉大な勝利を達成する意志が第8回党大会の基本思想あるいは基本精神です。

金正恩総書記はつぎのように述べています。

「朝鮮革命に提起された重大な歴史的課題は、全党が以民為天、一心団結、自力更生を今一度肝に銘じ、さらに高くかかげていくことを求めています」

金正恩総書記は、偉大なるわが人民をわたしの運命の天のごとくみなすと述べています。偉大なるわが人民とは、つまり人民がすべて党の上であり、運命の天のごとくみなすということであり、民衆がつねに中心であるということです。党はあくまでも人民の忠僕、しもべであり、人民大衆第一主義ということです。金正恩総書記は、人民に献身して決死奮闘することを誓い、以民為天の精神を述べています。

つづいて一心団結と述べています。心をついに一人ひとりがかたく結びつきあっ

て、自分の力を信じて、ことにあたっていくということです。

そして自力更生、すなわち自分の力できり拓いていくことです。

三大理念に朝鮮労働党の指導力を強められる根本的秘訣があり、朝鮮労働党が民衆のなかにいっそう深く根をおろすための根本的な方途があるわけです。三大理念に朝鮮労働党の革命的な意志があらわされており、民衆に深く根をおろす党の覚悟がうかがえるわけです。金正恩総書記は、三大理念に「われわれが唯一に生きつづけ、前途をきり拓くことのできる根本的保証があります」と述べています。

そして革命を達成させていくためには、以民為天、一心団結、自力更生の三つのスローガンを中心におこなっていくということを提起しています。金正恩総書記は、「結語」で、「何らかのものものしいスローガンをかかげるよりも、わが党の崇高な『以民為天』『一心団結』『自力更生』という三つの理念を今一度銘記することで、第8回党大会のスローガンに代えよう」と提起しています。

菅義偉首相 2020年9月、決意表明で、自分が目指す社会像として、自助、共助、公助、そして絆であると述べています。最初の自助は自分たちが一生懸命やるということであり、共助は助けあうこと、そして最後に公助、政府の役割があると述べているのです。結局、日本は、政府がおこなうことは最後という順序になっています。

朝鮮は、菅首相の方針とまったく逆の順序です。以民為天は党、行政が全面的に人民のためにやっていくということであり、党がもっとも努力して、それをうけて一心団結、自力更生、すなわち自分たちの力を信じて、力をあわせて精一杯努力していくということがあります。日本と朝鮮では逆の構図、政策になっています。

国家経済発展5か年計画

三大理念をふまえて、新たな国家5か年計画がだされています。

五か年計画の重要な課題として社会主義経済建設があります。社会主義経済建設の科学的な基礎をきずかなければなりません。方針としては金属工業と化学工業を経済発展のキーポイントとしてとらえています。金属工業と化学工業部門をまず原則として発展させるということです。つぎに基幹工業部門間の有機的連係を強めて経済の活性化をうながします。いろいろな基幹工業部門をばらばらではなくて有機的につないでいくことにより、実際の経済活動の活性化をうながしていくということです。

さらに農業部門の物質的・技術的な土台をかためるということ、軽工業部門で原料の国産化の比重を高めて人民生活を一段と高めることが指摘されています。

また何のための金属工業と化学工業の発展なのかを追求しています。金属工業と化学工業を正常の軌道、活性化の段階におしあげるための活動に集中し、それにもとづいて、他の部門と連携しながらすべての部門を高めていく方向にすすむということです。

金属工業と化学工業部門の発展が、人民生活の基本であり重要な食糧問題を解決する

ことにつながっていきます。人民が豊かにならなければ意味がありませんし、あくまでも人民の食糧問題の解決につなげていくということです。

帝国主義諸国の朝鮮敵視政策があり経済制裁が長期化するなかにあつて、朝鮮独自の食糧生産をおこなっていき、食糧問題の解決につとめなければならないことが確認されたと思います。朝鮮では、制裁がいまもずっとつづいているので、わたしたちが予想する以上に人民は苦しい生活を余儀なくされていると思います。

食糧問題の解決が科学技術発展の目的ということです。

科学技術の実際の発展をもって、経済建設と人民生活の向上を保障しなければならないということ、科学技術は社会主義建設を牽引する機関車であり、国家経済の主たる発展の原動力であると述べています。科学技術が機関車としての役割を果たすよう国家経済発展五か年計画の達成のための重点課題とするということです。研究課題としても科学技術を重視しています。

核開発も科学技術の発展にむすびついているといえるでしょう。たんなる戦争のための核、武器、武力ではなく、核開発の技術の向上が朝鮮の技術力全体の向上にもつながっているといえるでしょう。

科学技術の発展は、地方経済の発展につながるということも述べています。市、郡の自立的で多角的な発展をうながして地方経済を発展させ、人民の生活水準を向上させる土台をきずくということです。

全党的、全国的、全人民的な教育と規律を重視し、社会生活の各分野であらわれている反社会主義的、非社会主義的傾向、権力乱用と官僚主義、不正・腐敗、税金外の負担などあらゆる犯罪行為を阻止し統制していくことが述べられています。

科学技術の基礎にはいろいろありますが、とくにここでは改めて教育と規律を重視するということです。

日本も、政治の権力濫用や官僚主義、不正や腐敗については、あてはまる部分が多くあります。日本の場合、国会で犯罪行為を追求された政治家はみんな言い逃れをしています。判然としない状態がつづいており、絶対に許されることなく、徹底的に統制しなければなりません。

権力濫用や官僚主義は許されることなく、もっともよくないことなので、統制して阻止していかなければなりません。体制を破ったり壊したりする非社会主義的なものとのたたかいが、社会主義体制を守るためにはきわめて重要になります。

党员、民衆一人ひとりの主観や腐敗した考えは、結局は内部から体制崩壊させていくことにつながるのです。したがって朝鮮では教育と規律を重視し、「結語」でも大きくとりあげられているのです。

「結語」の最後で核抑止力について再度述べられています。外部勢力の軍事的圧力、核政策の脅威から社会主義を守るということです。実際に朝鮮を亡き者にしていこうという帝国主義の動きがあります。社会主義を守っていくために国防力を質的にも量的にも

も強化していき、最強の軍事力を備えなければなりません。

朝鮮を圧殺しようとするアメリカ帝国主義とそのとりまきなど、侵略者がいるかぎり、核武力建設に手をぬくわけにはいかないということです。軍事力の競争になるということは決して好ましいことではありませんが、いまの状態では競争にならざるをえないのです。

「結語」では対外交渉の具体的な内容にふれられていません。いまの状況では朝鮮が外交政策の案をだす段階にないといえます。朝鮮は相手の出方をみながらいろいろ策を練っているのだと思います。

朝鮮労働党第8回大会の報告は、たんに朝鮮だけのことではなく、わたしたちの活動や運動にもつながる普遍的な内容をふくんでいます。深く学ぶことにより、実践に生かしていくことが大事です。